



発行日 2005年12月1日
 発行：宮城県民間非営利活動プラザ
 編集：NPO 法人社の伝言板ゆるる
 〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
 TEL：022-256-0505
 FAX：022-256-0533
 E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp
 http://www.miyagi-npo.gr.jp/

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひとひととが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。

||||| NPOの理解者を増やすために。プラザは施設見学大歓迎！！ |||||

「みやぎNPOプラザ」には、日々、多くの人たちが訪れます。もちろん、NPOのメンバーとしてミーティングや作業のために来館する方は多いですが、プラザはNPO関係者だけが利用している施設ではありません。NPOについて知りたいと思う方々の来館も多くあります。そして、プラザの役割やNPOの現状について知りたいと希望する、団体の施設見学も積極的に対応しています。

ひとくちに「施設見学」と言っても、見学者の意図はさまざまです。行政の施設見学会としての参加者はプラザがどのような施設かを知りたいでしょうし、既に何かの活動をされている方は、具体的な利用法について尋ねてきます。また、講座や授業のひとコマとして

の来館ならば、重きが置かれるのはNPOの考え方や現状についての解説です。あるいは、議員や官公庁の見学（視察）となれば、NPO支援施設の設置・運営や、行政とNPOの協働の事例検証的な意味合いになります。

プラザでは、今年の4月より“をむすび”をキーワードに、“NPOが地域（市民）行政、企業、あるいはNPO同士で結びつくためのお手伝い”を心掛けながら施設運営に取り組んでいます。そのため、施設見学では、館内をご覧いただきながらプラザの機能と役割を説明す

るとともに、見学者の構成に配慮しつつ、NPOへの正しい理解をもっといただくための話題や情報の提供に努めています。ですので、見学希望の団体から、「施設見学の他に、NPOについてのお話を」との申し出をいただいたときは、まさに貴重な機会とばかりに対応します。それは「NPOについての正しい認識をもっといただきたい」との“おmoi”と、「まだであれば、機会を見つけ

て身近なNPOに関わってみて欲しい」との“ねがい”によるものです。

プラザでは、施設見学のご要望には、積極的にお応えしています。もしNPOについて感心をお持ちの団体がいらっしゃれば、ぜひ、プラザへお電話ください。宮城県内にNPOへの理解者がひとりでも増えるよう、対応いたします。



< 今年度11月までの施設見学対応（来館順） >

宮城県新任職員研修、宮城県BBS連盟、環境省東北地区環境対策調査官事務所、仙台市立大和小学校社会学級、寒河江市立陵南中学校（2年生の職場訪問）、東北福祉大学樋口研究室、名取市議会総務財政常任委員会、白石ユネスコ協会、**仙台市社会福祉協議会** ボランティアアドバイザー養成講座受講生（写真～）、**奈良県議会厚生委員会**（写真～）、宮城教育大学講座「フィールドワーク」受講者

広がった！つながった！くりはらの和！

去る11月13日(日) みやぎNPOプラザの地域交流事業である、市民とNPOと行政をつなぐ企画・第一弾『NPOキャラバン in くりはら』は、催事が多い時期にもかかわらず100名を超えるご参加者で盛況に終えました。

第一部は、浅野前宮城県知事と佐藤栗原市長、大久保NPOプラザ館長の鼎談を開催。宮城県のNPO促進条約に深く関わった二人の当時の貴重な体験を聞き、NPOに期待していることが伺えました。特に佐藤市長からは、来年度の計画の一部“栗原マニフェスト”が飛び出し、参加していた市職員とともにその計画を約束しました。

続いての第二部では、地元NPOの三人のパネリストが自らの活動を熱く語り、会場内の市民や行政職員は、熱心に耳を傾けました。



第二部 パネルトークの様子

そして、第三部の交流会には、約60名もの参加があり、会場は熱気に満ち所狭しとなりました。

地域づくり団体を皮切りに、障がい福祉、教育、子育てなどのNPO・市民活動、そして行政などが数分間の持ち



第三部 交流会(団体紹介)

時間に“活動紹介”をし、栗原市内の様々な活動を知る良い機会となりました。隣接するエリアから



第一部 鼎談 左から 大久保館長 浅野前知事 佐藤市長

の参加者もあり、交流の広がりも見える交流会となりました。

短い時間の中で、栗原市民やNPO、行政にとって“広がり”と“つながり”をもたらし、小さいかもしれませんが“くりはらの和”ができた有意義な時間を過ごすことができました。今後NPOキャラバンは、県内5箇所で開催を予定しております。地域を越えてのご参加をお待ちしています。



第三部 交流会

これから開催のNPOキャラバン

- 06年2月12日(日) 登米圏域(登米祝祭劇場)
- 06年2月18日(土) 気仙沼・本吉圏域(ワンテンビル)
- 06年2月25日(土) 大崎圏域(古川合同庁舎)
- 06年2月26日(日) 仙南圏域(大河原駅前オーガ)
- 06年3月4日(土) 石巻圏域(石巻文化センター)

みやぎNPOプラザの新スタッフ 栗原文博(くわはら ふみひろ)



はじめまして。NPOプラザに勤務し始めてまだ日は浅いのですが、宮城県内のNPOのみなさんのバイタリティーに日々感心させられています。皆さん一人ひとりのバイタリティーが更に向上になるような環境作りのお手伝いができるように、これからの業務を全うしていきたいと思っています。以前は同時通訳をしていたので、ちょっ

とした英語やドイツ語や北欧言語・文化に関する質問には、できる範囲内でお答えします。外国の方もぜひプラザにいらしてください！ご指名いただければ、英語やドイツ語で簡単なプラザの紹介をいたします。

Foreigners are also welcome. When I am available, I will show you around in NPO plaza.

「障害者自立支援法ってなに？」を開催

主催：地域生活も子ばなれもしょう会・NPO法人福祉ネットABC・もうもうず

障害者自立支援法が成立しました。福祉サービス一本化、一割負担など、少しずつは聞いているけれど、やっぱりよくわからない。そんな「障害者自立支援法」をテーマに、第4回NP・O結びサロンが開催されました。

寒い中、参加者は80名を越え、関心の高さが伺え、予定の2時間はあっという間に過ぎ、質問の時間がわずかしかとれないほど。講演内容をこの紙面で伝えるのは難しいので、講演終了後に聞いた参加者の声をご紹介します。

「障害者自立支援法という名前が能動的で良いと思いました。成立はしたものの、まだまだ決まってない点がいくつもあると今日の話して知り、もっと自分たちで声を上げていこうと思いました。就労や地域での生活が強調されたサービスが増える事を願います。」



「障害程度区分を個人ごとに判定するようだが、障害は千差万別なのでどのように区別するのか不安。個人々々をヒトとして見てくれる、その人に合った支援体制を望みます。」



「障害のある子どもをもつ親として、子どもの将来のために貯めたお金が公正に使われることをお願いします。一般の人と同じ生活ができるようその環境をつくるためにも、基本的なことを地域のみなさんが理解してくれるようにしては、」

今回が成立後初めての講演会とあって、2時間ではとても「障害者自立支援法」は語り尽くせませんでした。しかし知るきっかけとなり、また次回に繋がるとも良い機会になったのではないのでしょうか。

「(社) 呆け老人をかかえる家族の会 宮城県支部」の巻

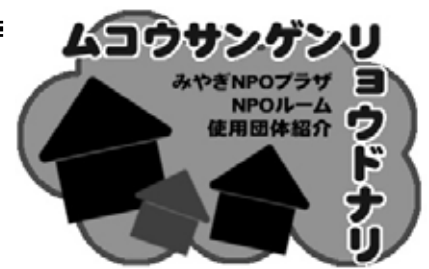
この団体は、認知症患者を抱えた家族への精神的サポートをする為に、平成7年に設立されました。代表の関東澄子さんは、ご自身の介護経験を通して、サポートが必要なのは、介護される人だけではなく、実際に介護にあたる家族であることを実感しました。

「私自身、義母の介護に疲れていた時、どれだけ精神的サポートが欲しかったか分かりません。」と話す関東さんです。

平成10年4月に本拠地をNPOプラザの事務ブースに移し、無料電話相談を始め、交流サロンや会議室では対面相談や家族の集いを行うなど、日々積極的に県民に働きかけています。また、月刊会報「ぼ～れ ぼ～れ」には、介護体験談や電話相談事



例などを載せ、会員間の情報交換にも役立てています。



関東さんは、「会員数は、210名とまだ少ないですが、これからどんどん認知症への意識が高まり、会員が増え、県内の至る所に我々と同じような団体が発足し、認知症患者の介護に悩む人達が少しでも減っていくことを心から願っています。」と目を熱くしながら話してくれました。

取材中にも何本かの相談の電話が入り、ペンを取る関東さん。「電話口で『ああ、あなたに話して良かった!』と言われる時が一番嬉しいです。」と、今日も相談者に献身的に対応する優しい声が響いています。

実践研修「NPOのリスクマネジメントとは?」(仙南地域・大河原)

日時：12月3日(土) 13:00~18:00

場所：大河原町中央公民館

講師：中原美香氏

(NPOリスク・マネジメント・オフィス)

NPOマネジメント セミナー

実践研修「NPOのリスクマネジメントとは?」

(大崎地域)

日時：12月4日(日) 10:00~16:00

場所：古川市市民活動サポートセンター

講師：中原美香氏

(NPOリスク・マネジメント・オフィス)

基礎研修「想いを伝える企画書そして発信」

(気仙沼・本吉地域)

日時：12月10日(土) 10:00~16:00

場所：宮城県気仙沼合同庁舎

講師：大久保朝江氏

(NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

実践研修「よくわかる会計講座」

(仙南地域・白石)

日時：12月11日(日) 10:00~16:00

場所：白石キューブ

講師：平野由紀子氏(税理士)

基礎研修「人を生かすNPO」(大崎地域)

日時：12月17日(土) 13:00~18:00

場所：古川市市民活動サポートセンター

講師：大久保朝江氏

(NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

後藤美香氏

(NPO法人日本コーチ協会東北チャプター代表)

対象：県内で活動しているNPO(法人格の有無は不問)、市町村行政職員、これから団体を立ち上げようと考えている方など

定員：30名(先着順・定員に達し次第締切)

受講料：無料 12/11(白石)のみ資料代500円

申込方法：下記事項を明記し、FAX・E-mail・郵送にて

- (1)講座タイトル&会場 (2)所属先名
(3)氏名 (4)性別 (5)年齢 (6)役職
(7)住所 (8)TEL・FAX・E-mail

主催：宮城県

企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる

連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

みやぎNPOプラザ No.6

TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

E-mail:yururu@miyagi-npo.gr.jp

http://www.yururu.com/

新規のNPO法人認証団体 (10月18日~11月8日の期間)

さぼーとおるいず	黒川郡富谷町	知的障害者及びその家族の生活支援事業等
奥秋保ふるさと村づくり	仙台市青葉区	奥秋保・山寺名勝園の開発、地域資源の調査等
あくせす ふらり	仙台市太白区	障害者・高齢者に対する有償移送サービス
青少年を非行と虐待から守る会	仙台市青葉区	青少年の更生及び保護事業
虹の駅	栗原市	身体・知的障害者デイサービス事業等

12月の催し

2日	金	人材育成講座(13:30~15:30) ボランティアのためのリスクマネジメント	16日	金	NPO無料相談会(10:00~16:00) 12月のテーマ「高齢者福祉サービス事業」
6日	火	らくらく会計講座(13:00~16:30) ツボをはずさない決算書の作り方	20日	火	人材育成講座(18:00~20:00) 「NPOの想いを図解すると...」
7日	水	TOI山旅懇談会(18:00~19:30) 東北アウトドア情報センター TEL:022-282-0558	22日	木	会計・労務・団体運営の NPO無料相談会(13:00~17:00)
7日	水	NPO法人のための会計実務教室(13:30~)	25日	日	無料相談会(13:00~) 宮城県マンション管理士会 TEL:022-218-2003
9日	金	NPO法人エス・ピー仙台 TEL:022-263-0382	「印の催事は 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ) TEL:022-256-0505 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる		
11日	日	進路説明会&個別相談会(13:00~15:00) NPO法人ミヤギユースセンター TEL:022-256-7977			